

# 市民&中小企業者のみなさんの要望実現のために 共産党市議団が、市長に2012年度予算要望書提出



## こんにちは宮原春夫です

第255号  
2011年12月4日

発行  
日本共産党  
川崎市議員団  
☎ 200-3360  
FAX 245-4140  
<http://www.jcp-kawasaki.gr.jp>

その他連絡先  
☎ 246-6823



困った時、  
迷った時は、  
宮原市議へ



兵庫耐震工学研究センター  
実大三次元振動破壊実験施設  
(Eディフェンス)

日本共産党川崎市議団は11月2日、各界団体の要望を含め、議員団としてまとめた2012年度予算要望書を阿部市長に提出しました。今回は重点項目である川崎市の震災・防災対策の抜本的強化が中心に据えられており、市民の命と安全をまもる姿勢をより鮮明にしているのが特徴です。

当日は砂田副市長が応対し、液化・津波問題については12月議会では補正予算を予定しており、「震災対策」については新年度予算で、「放射能対策」は国待ちでなく川崎独自の対策を進めたいと述べ、さらに「食品検査はポリウムの問題もあり難しいが市民の不安を少しでも取り除くことが行政の仕事ですので検討します」と表明しました。

この要望書は商工会議所をはじめ各界の団体の要望をヒアリングし、議員団全員で検討を重ねて練り上げてきたものです。これまで実現できていない、市民のくらしや福祉の切実な要望がびっしりと話まわっており、来春の市議会では、これらをもとに、予算の使い方論戦が繰り広



予算要望書を渡して懇談する共産党市議団 (左端は砂田副市長)

げられます。

### 関西自治体のとりくみを視察

#### 大阪市の産業創造館

「ものづくりマッチング事業」  
10月24日～25日にかけて市議団として大阪市・神戸市・三木市の事業を視察してきました。

大阪市では、技術者として経験を積み、人脈を持つ技術系企業OB 50人のマッチングナビゲーター、大阪市内のものづくり企業・事業者を一軒一軒訪問し、製品・技術について、ヒアリングを行い、販路拡大・技術提携につなげる助言などを行っています。

営業先・研究機関の紹介などを通じてビジネスチャンスを拡大しています。

毎月1回の会議にナビゲーターが30～40人参加し、4～5時間かけて中小企業の技術を情報交換し、みんなで考える場を開いており、最近は大企業からも技術の問い合わせがくるようになっていきます。川崎市ではこのようなナビゲーターはわずか7人しかいません。

### 関西電力による

#### 中之島三丁目地区 地域冷暖房システム

大阪市中之島3丁目地区での2河川を利用した地域冷暖房システムはプラントから、冷水・温水・蒸気などを、一定地域内の建物群に供給するシステムで、旧淀川(堂島川)の河川水を熱源として利用しています。河川水は大気と比べて、夏は冷たく冬は暖かいので、ヒートポンプは効率よく運転でき、省エネ、CO2削減、ヒートアイランド現象の抑制に寄与できます。河川水を熱源とする場合、地域冷暖房プラントの屋上などに室外機が不要で、屋内空間の有効利用が可能になります。



説明のシステムで、屋上空間の有効利用が可能になります。

#### 下水汚泥から精製する 「こうべバイオガス」事業

神戸市では、下水の処理過程で発生するガスを精製して天然ガス自動車の燃料とする取り組みを行っています。消化ガスは、メタンを多く含む燃料となるため、従来から処理場内のボイラーや空調燃料

に使用していましたが、約3割は余剰ガスとして焼却していました。そこで、消化ガスの100%活用を目指し、都市ガスとほぼ同等の品質で天然ガス自動車燃料として活用できる、メタン98濃度の「こうべバイオガス」の精製に成功しました。残ったガスも大阪ガスに売却しています。



消火ガスタンクの内部の様子を覗いてみる宮原議員

### みなさんの声

市政と  
議会に  
届けます



#### 市民要望が実現 京町2丁目多目的広場が整備

京町2丁目ポンプ場上部多目的広場が12月初旬に整備されます。9月中旬、老人会のSさんとNさんから「今年2月に多目的広場の半分を整備していただき、グラウンドゴルフとゲートボールをするのに大変良くなりましたが残り半分の整備もぜひ」との要望が寄せ

### 兵庫県三

本市に05年完成の、独立行政法人・防災科学技術研究所の実大三次元振動破壊実験施設は「なぜ壊れるか、どこまで壊れるか、どう壊れるか」を実証実験するため、実大規模の構造物を3次元地震動(よこ・上下方向)で加振し、構造物の破壊メカニズムを究明する世界最大規模の施設です。実際の地震と同じ複雑な揺れをつくりだす15層×20層の振動台の上に実物大の構造物をのせ、震度7クラスの地震を再現。様々な破壊過程と新しい耐震技術を検証。ハウスメーカーの安心安全な家づくりにも寄与しています。



振動破壊実験用建物の前で

られました。宮原春夫議員は、上下水道局の担当者に要望したところ、「新年度の予算で」との回答でしたが、雨が降れば水たまりになり自分たちで砂を入れてやっとゲームをしている状況を説明し、宮原議員と再度交渉しました。担当者が

「何とかやりくりして整備します」と約束され、と約束されたままです。



公園の利用者に意見を聞く

シリーズ 川崎市環境委員会19 視察

# 神奈川県水道企業団の水源地視察

環境委員会は11月16日、県・川崎・横浜・横須賀市で構成する神奈川県水道企業団の水源地である宮ヶ瀬ダムと相模大堰を視察しました。(現在の川崎市の水源地内訳は下表のとおりです。)

川崎市は、水道事業再構築計画にもとづいて自己水源地である近くておいしい多摩川の伏流水を廃止して、遠くの水道企業団の水に統合する計画を決定し、その為の工事を開始しています。

問題は、相模川の取水堰から長沢浄水場までの導水すい道が、神縄・国府津活断層の上部を通っていることです。

3・11の時も約一週間使用出来なかった事態も起きていることから、防災時の対策を考えたも近くて、おいしく安全な自己水源地を確保することの重要性があらためて見直されています。



## こんな時にも宮原議員の助言

町会で一人暮らしの老人の手助け活動を検討していた時、テレビの不法投棄問題が報告され、行政機関に相談したところ「不法投棄されたテレビは一カ所にまとめ、数台なら処分します」とのことでした。

町内会館の裏庭に回収したところ、数十台のテレビが集まってしまい、こんな集まってどうしようかと頭を痛めていました。こんな問題は議員に相談してもどうにもならないと思いつつ、宮原議員に相談してみました。

相談してみました。

前代未聞の相談ごとに「地デジ化によりリサイクル品として処分すべきテレビが各家庭においてある実態の反映であり不法投棄が後を絶たない。対策を検討してみよう」といろいろ骨を折って頂きました。お陰様で処分は新聞販売店の「リサイクル品引き取り」を利用することで全数解決できました。町会では、町内行事にも欠かさず挨拶に駆けつけてくれ、今回のような問題でも親身に相談に乗ってくれた宮原議員に感謝しています。

先日は真加児童公園の放射線測定にも立ち会っていただき有難うございました。これからも市民に役立つ議員として頑張ります。



### 川崎市の水源地内訳

水系	種別	水源水量(m <sup>3</sup> /日)		水源開発等事業名	
		上下	上下		
自己水源	相模川	表流水	422,000	241,000	相模川河水統廃事業
	多摩川	表流水	—	200,000	相模川総合開発事業
	地下水(浅井戸)	100,000	50,000		
計		522,000	491,000		
企業団	酒匂川	表流水	495,200	—	企業団建設事業
	相模川	表流水	10,400	—	企業団相模川水系建設事業
	計	505,600	—		
水道事業からの原水供給		—	—	40,000	
合計		1,027,600	5,310,000		

市の再構築計画を見直す必要があるのです。

## JR川崎駅前 バリアフリー化ウォッチング

念願であったJR川崎駅東口のバリアフリー化が完成し、宮原春夫議員は10月22日、市民の皆さんと一緒にそれぞれの場所をウォッチングしました。



JR川崎駅から仲見世へ抜ける横断歩道は喜ばれています



駅南側の歩道橋にエレベーターとエスカレーターが設置 (駅からルフロンへ)

場に行けるようになりました。さらに多くの人々が地表面を通って銀柳街や仲見世通りへ歩いていく様子は要求し続けたものとして格別の感があります。

高齢者、障害者、公病患者の皆さんはもちろんのこと、商店街の関係者の皆さんからも大変喜ばれています。

一方、市役所前通りと、新川通りは歩道の半分が自転車駐輪場となっており、歩道上を自転車が走り、歩行者が大変危険な状態も見られるなど、一日も早い駐輪場の移転が必要です。

### JR川崎駅東口のバリアフリー化 (駅からバスセンターへ) →



歩道の半分が自転車駐輪場となっており歩行者の通行を妨げてます

## 川崎港港湾計画 税金の無駄遣い

11月4日午前、「川崎港港湾審議会」が開かれ、宮原春夫委員も出席して諮問64号「川崎港港湾計画の一部変更について」審議を行いました。

諮問の内容は国際コンテナ戦略港湾計画の推進のために、東扇島のコンテナ埠頭に新たに2バース目を築造し、5年後から「港湾運営会社制度」で新会社を設立。川崎・東京・横浜が一体

となつて港湾の運営を委託するというものです。

宮原委員は様々な質疑により、「現在の一バースで20%の利用しかないのに、このうえ第2バースの必要性はないこと、新会社に運営を任せれば川崎港の労働者の雇用が守られるという担保もないことがはっきりした以上賛成できない」との態度表明をしましたが、賛成多数で承認されました。税金の無駄遣いについては今後も議会でしっかり議論していく必要があります。

## 「もったいない」の心が 生んだ放置自転車の活用

これまで何回も議会質問で取り上げ、川崎市から全面協力をいただいていた取り組みで、ベトナム・ダナン市の貧しい子供達への放置自転車寄贈活動は、今年10月で19回目となり、累計で6400台を超えました。

この活動への感謝の意味でダナン市から招待され、11月8日から4日間、ダナンを訪問してきました。

ダナン市とクアンナム省を公式訪問し、それぞれの代表の方と懇談し表彰状もいただきましたが、このたびは、なんと自分が自転車を買おうと必死に勉強する子どもたちの話や、子ども達から直接感謝とお礼の言葉を聞いて

## 春風献上 174 宮原春夫



放置自転車をリサイクルして国際交流につなげ、環境資源の保存と物を大切にすることが人間を大切にすることにつながっていくの思いで取り組んできた事が、大きく実を結び花を開きつつあることに確信を強めました。

また、ボランティアで参加する人も増えつつ、人の輪も広がり参加する人々に社会貢献する喜びを感じてもらっていることも嬉しい事でした。議会での質問がこのような発展につながり、川崎市のイメージの向上にもつながっている事を確認できた訪問でした。

尚、今年大震災の被害に遭った石巻市から要望があり、200台を寄贈しました。